

関係者各位

大和保健医療福祉ネットワーク  
会長 楠原 範之

## 第3回大和保健医療福祉ネットワーク のお知らせ

日 時：令和2年11月11日（水）19時～20時30分

場 所：大和市地域医療センター2階 講習室

テーマ：「生活習慣病（NCDs）の発症予防・重症化予防と  
歯科の関係」

講 師：大和綾瀬歯科医師会 武内博朗 氏

この機会では、歯科的介入と生活習慣病の関係をお話しします。  
歯科と生活習慣病の関係は、大まかに2つあります。  
一つ目は歯周病で、その改善は、歯肉の血管から身体に菌やゴミが入らなくなり、血管の炎症や代謝が改善します。  
二つ目は奥歯を失い、噛めない状態が長く続くと糖質偏重食およびタンパク質低栄養となり、結果として体に入るブドウ糖が増える一方で、タンパク質が減ってしまい著しい体力低下を招きます。  
このことが、筋肉の減少（サルコペニア）から“フレイル”と呼ばれる状態や寝たきりへつながっています。

歯科ではバランス栄養食が食べられる食環境の整備を行います。  
さらに近年の新型コロナウイルス 流行下における歯科のミッションについても簡単にご紹介致します。

とりわけ高齢者や基礎疾患がある方のお口の細菌数を一定にコントロールする必要性や、コロナウイルス感染の入り口が、舌の粘膜に沢山あるために手洗いばかりでなく、お口の手入れも大切です。これらについて簡潔にご紹介し、私たち歯科と多職種の皆さんと、やりがいを感じる連携が進むことを願っております。

### 【お知らせ】

オンラインの環境がない方は、大和市地域医療センター（2階講習室）にお越しください。

オンラインのIDは、[meet.google.com/spo-fwrs-zmv](https://meet.google.com/spo-fwrs-zmv)です。

車でお越しの場合は、近隣の駐車場をご利用ください。

（地域医療センターは、救急患者対応のため駐車禁止です。）



1987年 日本大学 歯学部卒業  
1991年 横浜市立大学医学研究科 大学院 博士課程修了  
1991年 横浜市大医学部附属病院 歯科 口腔外科勤務  
1993年 ドイツ政府研究員 マックスプランク研究所勤務  
1996年 国立予防衛生研究所 口腔科学部勤務  
2009年 医療法人社団 武内歯科医院 理事長